

田畑売買価格等に関する調査結果

— 令和3年度 —

令和4年3月

一般社団法人秋田県農業会議

は し が き

農業委員会組織では、農地の売買価格の全国的な動向を把握し、農業政策の基礎資料に資することを目的に、「田畑売買価格等に関する調査」を昭和31年から実施している。本調査結果は、県内の市町村農業委員会のご協力により、令和3年5月1日時点の田畑売買価格を調査し、その結果を取りまとめたものである。

近年は、新型コロナウイルスの感染拡大を要因とした学校の休校や外出自粛、インバウンド需要の減少等により、外食産業等の多くの産業に影響が生じている。

こうした中、米の需要減少や価格下落、従来からある農業の後継者不足や担い手の高齢化等の理由により、県内の田畑売買価格は下落傾向が続いている。

こうした状況を打開するには、地域の農業者と県、市町村、農業委員会、関係機関等が、担い手の育成・確保や人・農地プランの実行、農地の集約化等をすすめ、地域の農地を未来につないでいくための活動に一丸となって取り組むことが重要となる。本調査結果は、農地に関する業務や担い手の育成・確保に関する業務、農地利用の最適化業務に携わる皆様の活動へ有効にご活用いただきたい。

最後に、本調査の実施にあたり、多大なご協力をいただいた市町村農業委員会へ、深く感謝申し上げますとともに、今後も農地利用最適化へ向けた一層の取組みと活躍を祈念申し上げます。

令和4年3月

一般社団法人秋田県農業会議

目 次

I. 調査の目的・方法等	・・・	1
II. 調査結果		
1. 概要	・・・	2
2. 耕作目的の自作地売買価格の動向	・・・	2
3. 農用地区域内の自作地売買価格の動向	・・・	9
4. 転用目的の自作地売買価格の動向	・・・	13

I. 調査の目的・方法等

1. 目的と方法

本調査は、全国の田畑売買価格等の動向を把握し、農業政策推進の基礎資料に資することを目的に実施しており、市町村農業委員会にご協力いただき（一社）全国農業会議所が作成した調査票に基づき調査を実施した。

2. 調査地区

昭和 25 年 1 月 1 日当時の旧市町村を調査地区とし、県内では 239 地区を対象に調査した。

3. 調査対象農地

調査地区内の田畑のうち中田（ちゅうでん）と中畑（ちゅうばた）を対象とした。
（中田・中畑とは、収量水準や生産条件の標準的な田・畑）

4. 調査対象農地の区分

都市計画法と農業振興地域の整備に関する法律（以下、農振法）により、次のように区分している。

都市計画法による区分		農振法による区分	
都市計画法の線引きが行われていない市町村 （秋田市、潟上市以外の 23 市町村(213 地区)）		農用地区域	} 純農業地域
		農用地区域外	
都市計画法の線引きが行われている市町村 （秋田市、潟上市(26 地区)）	市街化調整区域	農用地区域	} 都市農業地域
	その他の地域		
	市街化調整区域	農用地区域外	
	その他の地域		
	市街化区域	—	

5. 調査時点

令和 3 年 5 月 1 日現在

6. 調査項目

- (1) 耕作目的の中田・中畑売買価格
- (2) 農用地区域内の中田・中畑価格の上昇・横ばい・下降の傾向と理由
- (3) 使用目的変更（転用）の田畑売買価格
- (4) 樹園地の売買価格（参考）

7. 売買価格

耕作目的の売買価格は、調査時点で売り手・買い手の双方が妥当とみて実際に取り引されるであろう価格とし、直近の売買実例価格だけでなく、過去のすう勢や地域の農地事情に精通した方の意見等を参考に決定している。また、使用目的変更（転用）の売買価格は、調査時点（令和 3 年 5 月 1 日）を含む過去 1 年間の売買実例価格を参考に決定している。

Ⅱ. 調査結果

1. 概要

(1) 中田

農用地区域内の中田価格(県平均)は、引き続き下落している。そのうち純農業地域^{※1}では、令和2年の418千円に対し、令和3年は398千円(対前年比95.2%)となった。都市農業地域^{※2}では、令和2年の428千円に対し、令和3年は399千円(対前年比93.3%)となった。

(2) 中畑

農用地区域内の中畑価格(県平均)も、引き続き下落しており、純農業地域では、令和2年の179千円に対し、令和3年は173千円(対前年比96.6%)となった。都市農業地域では、令和2年の339千円に対し、令和3年は347千円(対前年比102.2%)となった。

(3) 結果

純農業地域の農用地区域内の中田価格は、昭和62年の1,477千円をピークに35年連続で下落している。10年前(平成23年)との比較では、205千円(34%)の下落となった。

また、売買価格の動向^{※3}は、「横ばい」と「下降」が全体の97.0%となった。その理由として、「農業の後継者不足」「農地の買手が少ない、買い控え」「米価などの農産物価格が低い」という調査結果が多数を占めた。

※1 純農業地域：都市計画法の線引きが行われていない23市町村

※2 都市農業地域：都市計画法の線引きが行われている2市(秋田市、潟上市)

※3 売買価格の動向：「上昇」…3%超の価格の上昇、「横ばい」…3%以内の価格の上昇・下落、「下降」…3%超の価格の下落

2. 耕作目的の自作地売買価格の動向

(1) 純農業地域の自作地売買価格【表-1、参考-1】

農用地区域内の中田の売買価格は398千円で対前年比95.2%、中畑の売買価格は173千円で対前年比96.6%となった。

また、中田の売買価格は、大半の地域で下落したが、農用地区域内では秋田地域、農用地区域外では秋田地域と由利地域の価格に変動はなかった。中畑も大半の地域で下落したが、農用地区域内では山本地域と秋田地域、農用地区域外では山本地域、秋田地域、由利地域の価格に変動はなかった。

表－1 純農業地域の地域別自作地売買価格

(単位：千円/10a)

地 域	中 田						中 畑					
	農用地区域内			農用地区域以外の区域			農用地区域内			農用地区域以外の区域		
	2年	3年	対前年比	2年	3年	対前年比	2年	3年	対前年比	2年	3年	対前年比
鹿 角	287	258	89.9%	449	403	89.8%	129	116	89.9%	211	189	89.6%
北秋田	457	395	86.4%	344	323	93.9%	130	125	96.2%	144	138	95.8%
山 本	351	350	99.7%	287	283	98.6%	113	113	100.0%	84	84	100.0%
秋 田	512	512	100.0%	415	415	100.0%	234	234	100.0%	312	312	100.0%
由 利	593	587	99.0%	570	570	100.0%	267	263	98.5%	248	248	100.0%
仙 北	342	329	96.2%	404	387	95.8%	168	163	97.0%	226	220	97.3%
平 鹿	453	418	92.3%	500	450	90.0%	234	222	94.9%	292	250	85.6%
雄 勝	346	333	96.2%	267	257	96.3%	152	145	95.4%	165	158	95.8%
平均	418	398	95.2%	405	386	95.4%	179	173	96.6%	210	200	95.1%

参考－1 農業地域類型別自作地売買価格

(単位：千円/10a)

農業地域 類型	中 田						中 畑					
	農用地区域内			農用地区域以外の区域			農用地区域内			農用地区域以外の区域		
	2年	3年	対前年比	2年	3年	対前年比	2年	3年	対前年比	2年	3年	対前年比
都市的地域	562	519	92.3%	730	717	98.2%	273	241	88.3%	457	445	97.4%
平地農業地域	428	400	93.5%	447	386	86.4%	210	200	95.2%	271	234	86.3%
中間農業地域	424	403	95.0%	407	370	90.9%	186	174	93.5%	185	165	89.2%
山間農業地域	325	305	93.8%	295	286	96.9%	120	118	98.3%	122	120	98.4%
平均	435	407	93.6%	470	440	93.6%	197	183	92.9%	259	241	93.1%

(2) 都市農業地域の自作地売買価格【表－2】

中田の売買価格は、市街化調整区域、市街化区域ともに下落した。中畑の売買価格は、市街化調整区域で上昇し、市街化区域では下落した。

表－2 都市農業地域の自作地売買価格

(単位：千円/10a)

農業地域類型	中 田			中 畑		
	市街化調整区域		市街化 区 域	市街化調整区域		市街化 区 域
	農用地区域内	農用地区域以外の区域		農用地区域内	農用地区域以外の区域	
都市的地域	753	1,480	4,839	903	1,400	3,915
平地農業地域	344	436	270	188	488	270
中間農業地域	400	450	3,355	245	500	
山間農業地域	100			50		
平均(3年)	399	789	2,821	347	796	2,093
平均(2年)	428	814	2,835	339	716	2,116
対前年比	93.3%	96.9%	99.5%	102.2%	111.2%	98.9%

(3) 農用地区域内の中田売買価格の年次別推移【表-3、図-1】

令和3年の中田売買価格は、398千円と過去10年間で最も低く、10年前(平成23年)の価格の66.0%(△205千円)、下落幅が最も大きい鹿角地域では、10年前の46.9%、最も小さい秋田地域では84.2%に下落している。

表-3 農用地区域内中田売買価格の年次別推移

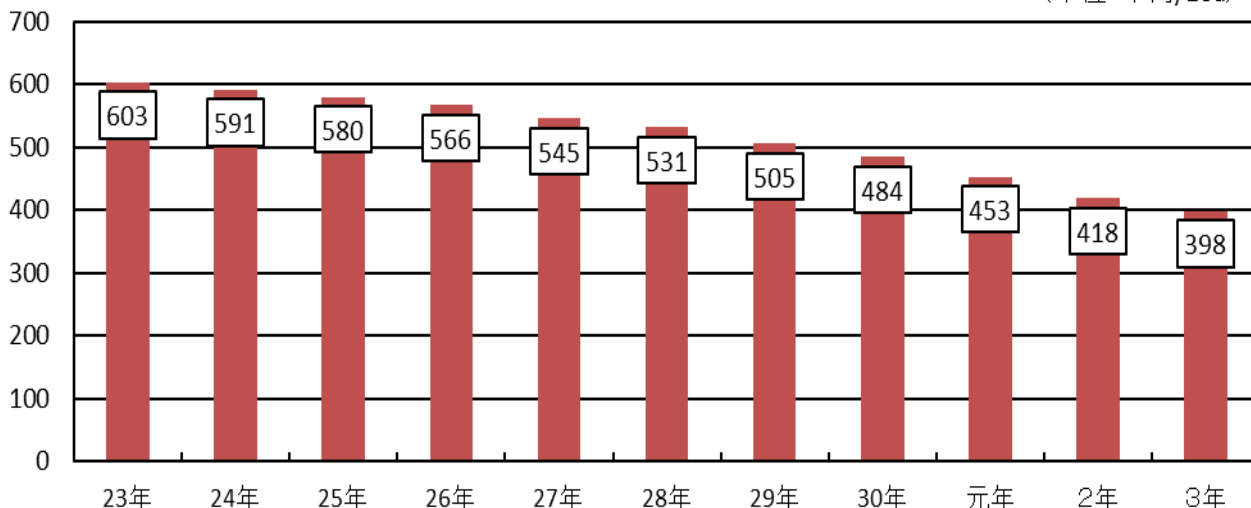
(単位：千円/10a)

区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	平均	
価格	23年	550	581	464	608	729	550	707	635	603
	24年	550	581	461	605	710	514	674	629	591
	25年	519	581	457	605	710	475	671	623	580
	26年	491	581	442	584	710	441	668	612	566
	27年	466	553	424	551	697	428	637	605	545
	28年	443	553	417	539	685	393	618	598	531
	29年	373	553	377	534	651	377	614	558	505
	30年	350	553	359	534	607	366	588	513	484
	元年	330	538	354	524	600	350	527	397	453
	2年	287	457	351	512	593	342	453	346	418
	3年	258	395	350	512	587	329	418	333	398
平成23年と比較	23年	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	24年	100.0%	100.0%	99.4%	99.5%	97.4%	93.5%	95.3%	99.1%	98.0%
	25年	94.4%	100.0%	98.5%	99.5%	97.4%	86.4%	94.9%	98.1%	96.2%
	26年	89.3%	100.0%	95.3%	96.1%	97.4%	80.2%	94.5%	96.4%	93.9%
	27年	84.7%	95.2%	91.4%	90.6%	95.6%	77.8%	90.1%	95.3%	90.4%
	28年	80.5%	95.2%	89.9%	88.7%	94.0%	71.5%	87.4%	94.2%	88.0%
	29年	67.8%	95.2%	81.3%	87.8%	89.3%	68.5%	86.8%	87.9%	83.7%
	30年	63.6%	95.2%	77.4%	87.8%	83.3%	66.5%	83.2%	80.8%	80.3%
	元年	60.0%	92.6%	76.3%	86.2%	82.3%	63.6%	74.5%	62.5%	75.1%
	2年	52.2%	78.7%	75.6%	84.2%	81.3%	62.2%	64.1%	54.5%	69.3%
	3年	46.9%	68.0%	75.4%	84.2%	80.5%	59.8%	59.1%	52.4%	66.0%

注) 都市計画法区域市町村を除く

図-1 中田売買価格の年次別推移

(単位：千円/10a)



(4) 農用地区域内の中畑売買価格の年次別推移【表-4、図-2】

令和3年の中畑売買価格は、173千円と過去10年間で最も低く、10年前(平成23年)の価格の67.1%(△85千円)、下落幅が最も大きい鹿角地域では、10年前の45.7%、最も小さい由利地域では86.2%に下落している。

表-4 農用地区域内中畑売買価格の年次別推移

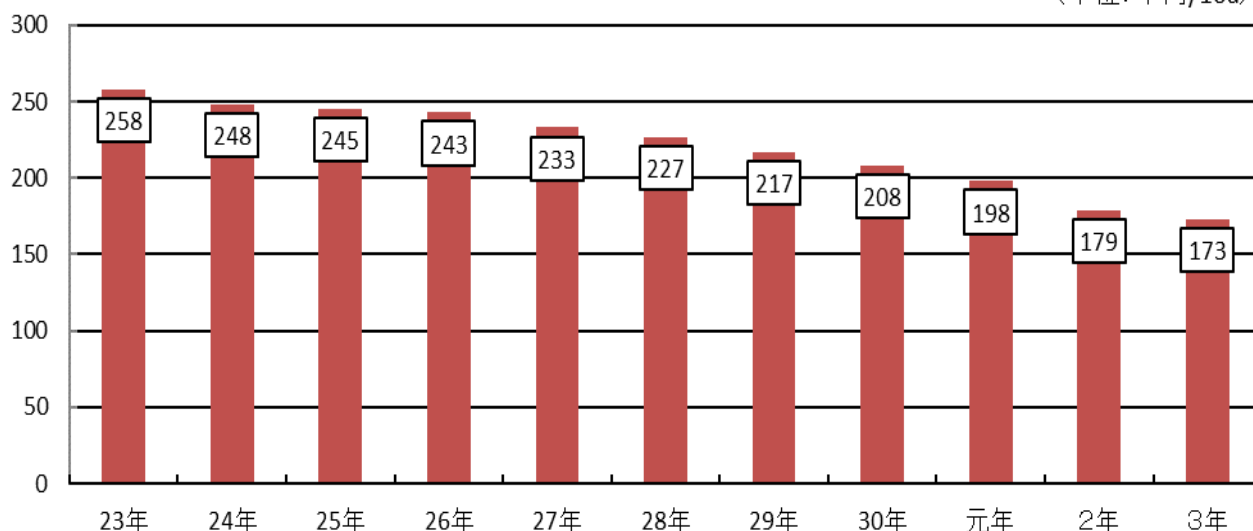
(単位：千円/10a)

区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	平均	
価格	23年	254	184	153	301	305	230	381	256	258
	24年	254	184	148	270	304	209	364	250	248
	25年	240	184	144	270	313	196	364	247	245
	26年	229	184	138	264	313	203	364	245	243
	27年	218	175	129	251	313	194	344	242	233
	28年	208	175	126	245	313	181	328	239	227
	29年	167	175	119	241	293	178	325	232	217
	30年	170	175	114	241	272	178	297	210	208
	元年	162	172	114	241	271	169	263	188	198
	2年	129	130	113	234	267	168	234	152	179
	3年	116	125	113	234	263	163	222	145	173
平成23年と比較	23年	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	24年	100.0%	100.0%	96.7%	89.7%	99.7%	90.9%	95.5%	97.7%	96.1%
	25年	94.5%	100.0%	94.1%	89.7%	102.6%	85.2%	95.5%	96.5%	95.0%
	26年	90.2%	100.0%	90.2%	87.7%	102.6%	88.3%	95.5%	95.7%	94.2%
	27年	85.8%	95.1%	84.3%	83.4%	102.6%	84.3%	90.3%	94.5%	90.3%
	28年	81.9%	95.1%	82.4%	81.4%	102.6%	78.7%	86.1%	93.4%	88.0%
	29年	65.7%	95.1%	77.8%	80.1%	96.1%	77.4%	85.3%	90.6%	84.1%
	30年	66.9%	95.1%	74.5%	80.1%	89.2%	77.4%	78.0%	82.0%	80.6%
	元年	63.8%	93.5%	74.5%	80.1%	88.9%	73.5%	69.0%	73.4%	76.7%
	2年	50.8%	70.7%	73.9%	77.7%	87.5%	73.0%	61.4%	59.4%	69.4%
	3年	45.7%	67.9%	73.9%	77.7%	86.2%	70.9%	58.3%	56.6%	67.1%

注) 都市計画法区域市町村を除く

図-2 中畑売買価格の年次別推移

(単位：千円/10a)



(5) 農用地区域内の中田・中畑の売買価格水準

①中田【表-5、図-3(1)、図-3(2)】

売買価格水準の分布を見ると、10年前(平成23年)は、60～80万円未満の価格帯が最も多かったが、現在は20～40万円未満の価格帯が最も多く全体の51.7%となった。

②中畑【表-6、図-4(1)、図-4(2)】

売買価格水準の分布を見ると、10年前(平成23年)は、20～30万円未満の価格帯が最も多かったが、現在は10～20万円未満の価格帯が最も多く全体の39.3%となった。

表-5 地域別中田売買価格の水準

(単位：地点数)

区 分	鹿 角	北秋田	山 本	秋 田	由 利	仙 北	平 鹿	雄 勝	計	
									実 数	構 成 比
20万円 未満	1	1				2	1	3	8	3.8%
20万円 ～ 40万円	9	17	17	12		33	4	17	109	51.7%
40万円 ～ 60万円	1	14	8	6	11	7	24	3	74	35.1%
60万円 ～ 80万円					18				18	8.5%
80万円 ～ 100万円								1	1	0.5%
100万円 ～ 120万円				1					1	0.5%
120万円 ～ 140万円									0	0.0%
140万円 ～ 160万円									0	0.0%
160万円 ～ 180万円									0	0.0%
180万円 以上									0	0.0%
計	11	32	25	19	29	42	29	24	211	100.0%

注 都市計画法区域市町村を除く

表-6 地域別中畑売買価格の水準

(単位：地点数)

区 分	鹿 角	北秋田	山 本	秋 田	由 利	仙 北	平 鹿	雄 勝	計	
									実 数	構 成 比
10万円 未満	5	5	9	4			1	2	26	12.6%
10万円 ～ 20万円	5	19	10	5	4	21	5	12	81	39.3%
20万円 ～ 30万円	1	5	6	5	13	17	17	7	71	34.5%
30万円 ～ 40万円		2		2	8	3	5	2	22	10.7%
40万円 ～ 50万円				2	1	1	1	1	6	2.9%
50万円 ～ 60万円									0	0.0%
60万円 ～ 70万円									0	0.0%
70万円 ～ 80万円									0	0.0%
80万円 ～ 90万円									0	0.0%
90万円 以上									0	0.0%
計	11	31	25	18	26	42	29	24	206	100.0%

注 都市計画法区域市町村を除く

図-3 (1) 中田の売買価格別地点数

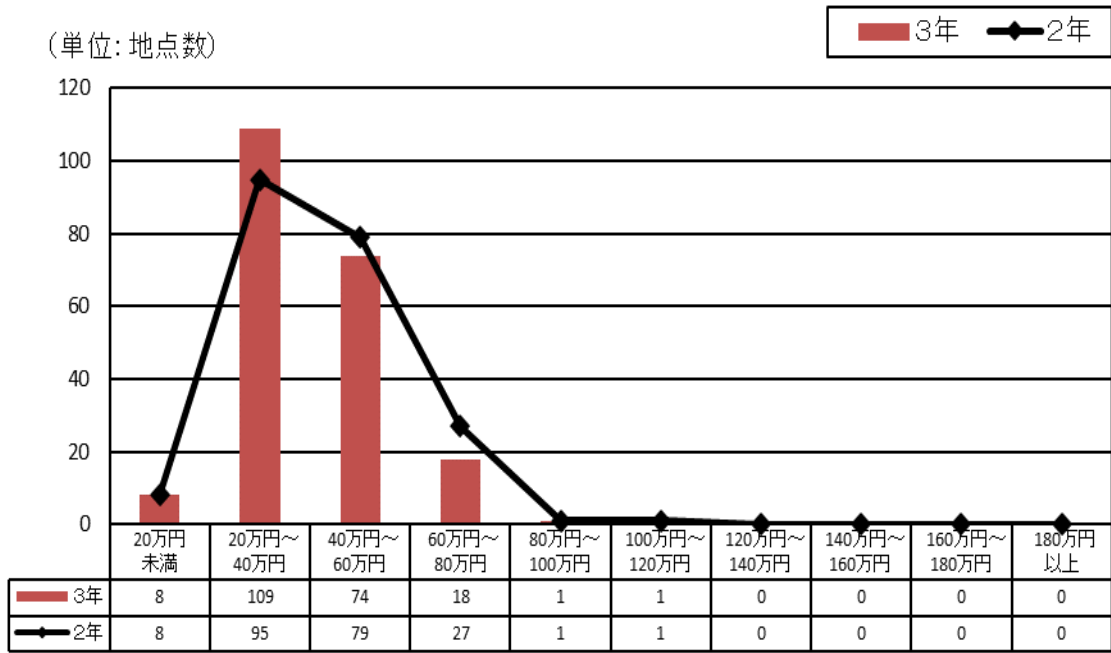
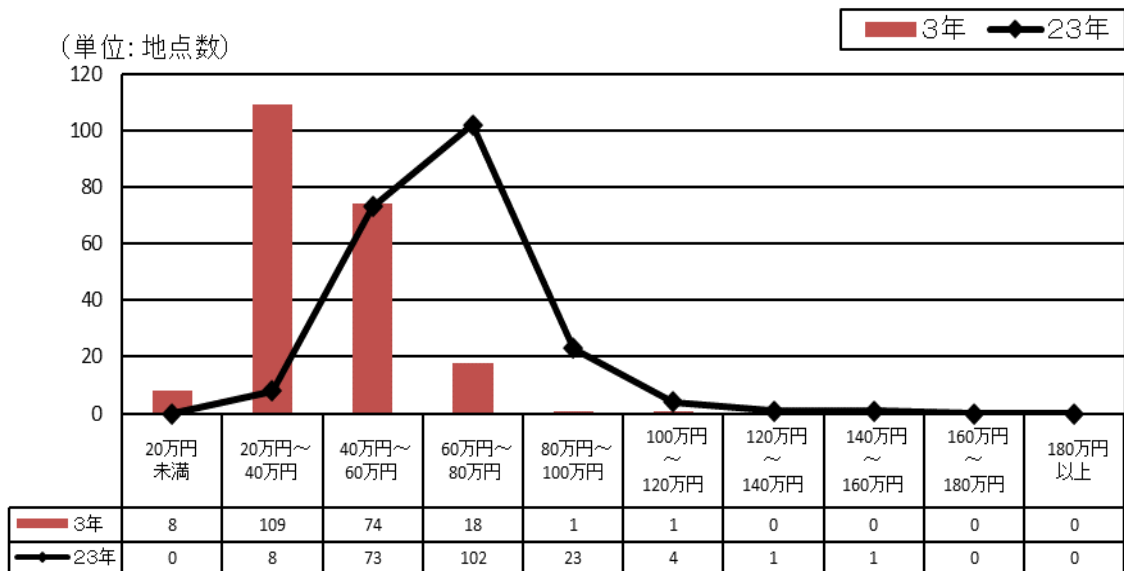
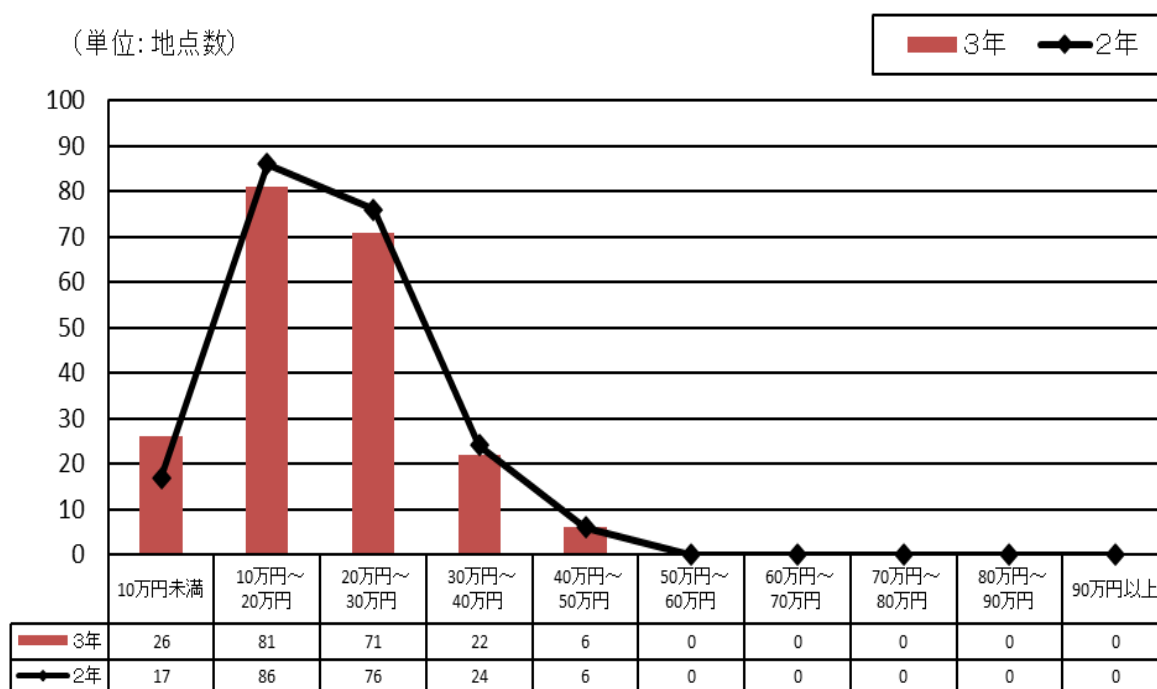


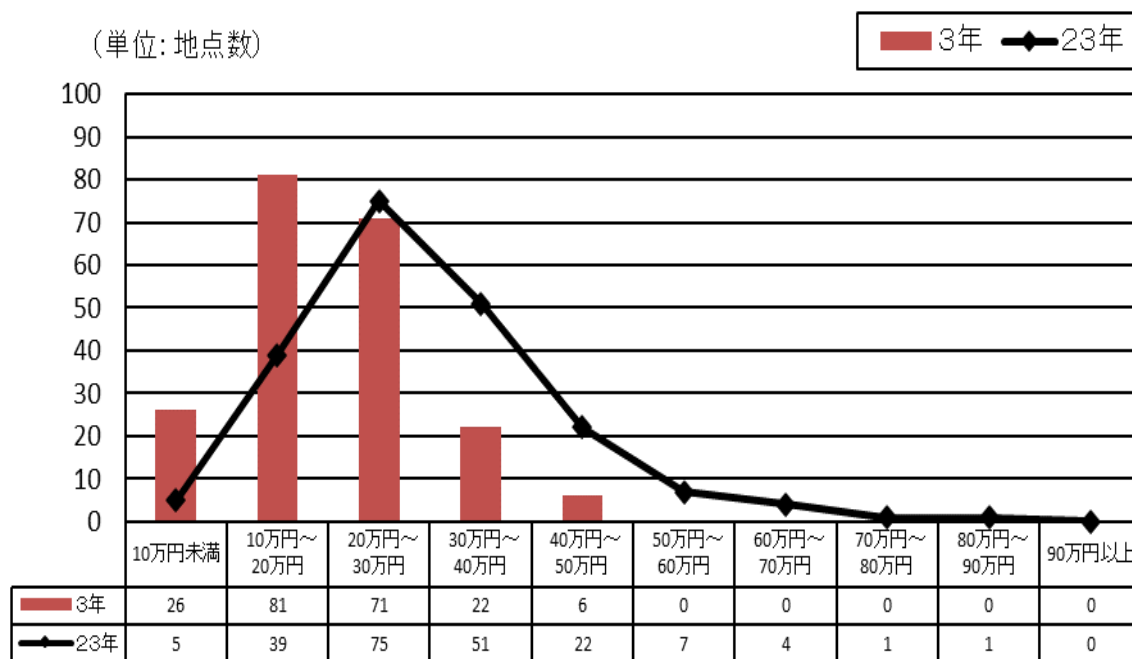
図-3 (2) 中田の売買価格別地点数(10年前)



図－４（１） 中畑の売買価格別地点数



図－４（２） 中畑の売買価格別地点数(10年前)



3. 農用区域内の自作地売買価格の動向

(1) 中田・中畑の売買価格の動向【表-7、図-5、図-6】

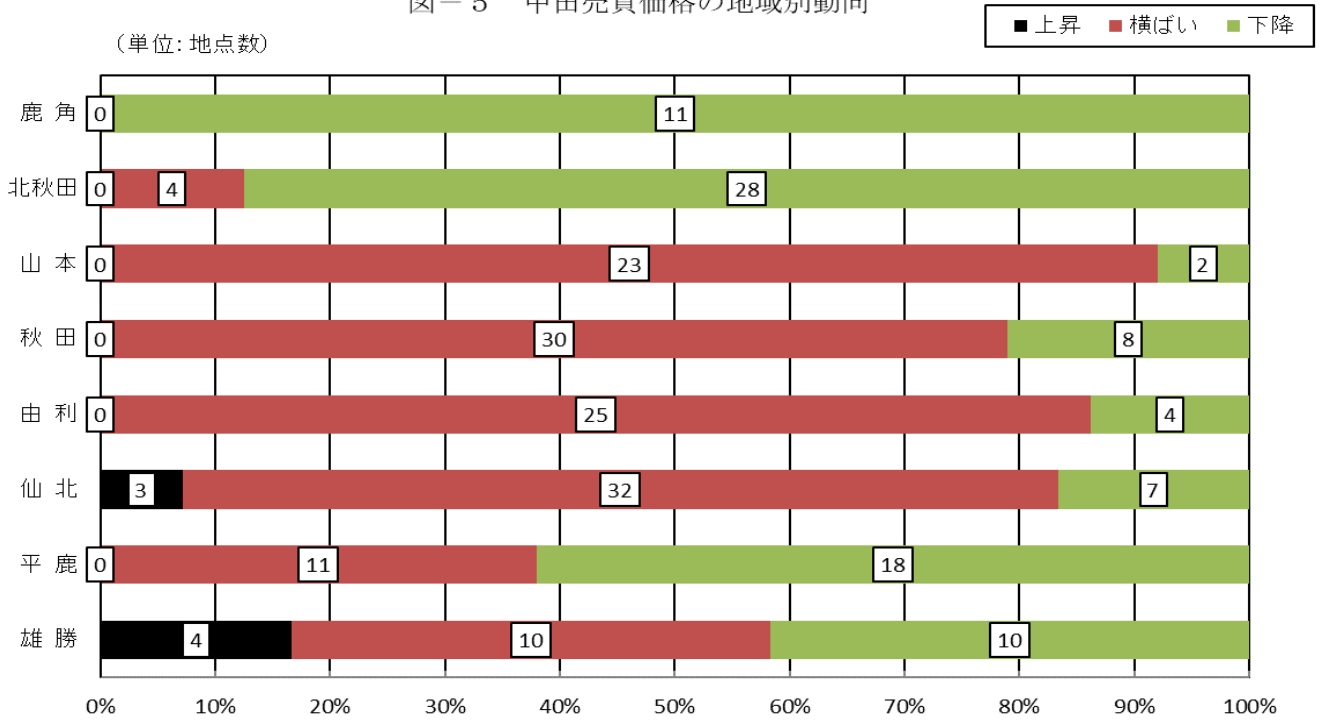
中田・中畑ともに「横ばい」となった地点が最も多く、構成比は、中田が58.7%、中畑が69.1%となった。「下降」となった地点は、中田が38.3%、中畑が30.0%となった。

表-7 地域別売買価格の動向

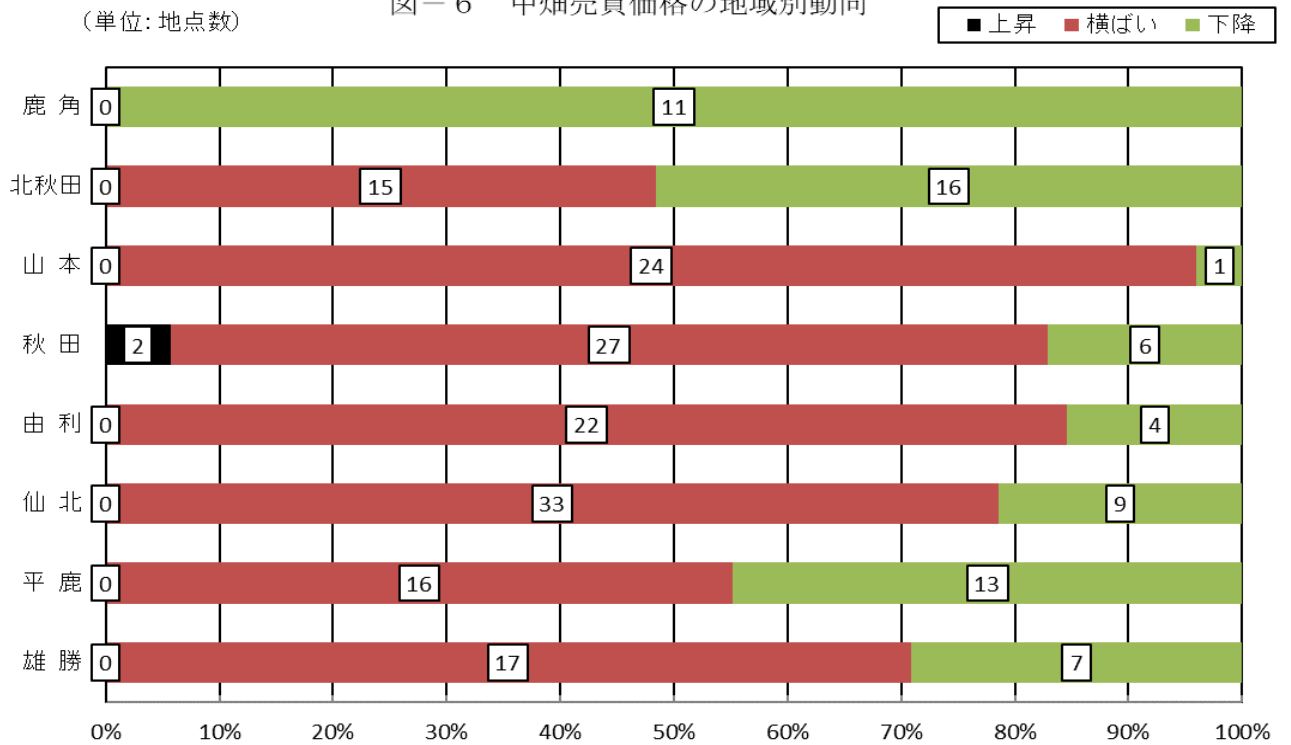
(単位：地点数)

地 域	中 田							
	上 昇		横 ば い		下 降		計	
	2年	3年	2年	3年	2年	3年	2年	3年
鹿 角	0	0	0	0	11	11	11	11
北秋田	0	0	1	4	31	28	32	32
山 本	0	0	24	23	1	2	25	25
秋 田	2	0	30	30	6	8	38	38
由 利	0	0	26	25	3	4	29	29
仙 北	2	3	31	32	9	7	42	42
平 鹿	0	0	9	11	20	18	29	29
雄 勝	0	4	4	10	20	10	24	24
計	4	7	125	135	101	88	230	230
構成比	1.7%	3.0%	54.3%	58.7%	43.9%	38.3%	100.0%	100.0%
地 域	中 畑							
	上 昇		横 ば い		下 降		計	
	2年	3年	2年	3年	2年	3年	2年	3年
鹿 角	0	0	0	0	11	11	11	11
北秋田	0	0	3	15	28	16	31	31
山 本	0	0	24	24	1	1	25	25
秋 田	4	2	24	27	7	6	35	35
由 利	0	0	27	22	2	4	29	26
仙 北	0	0	40	33	2	9	42	42
平 鹿	0	0	9	16	20	13	29	29
雄 勝	0	0	8	17	16	7	24	24
計	4	2	135	154	87	67	226	223
構成比	1.8%	0.9%	59.7%	69.1%	38.5%	30.0%	100.0%	100.0%

図－5 中田売買価格の地域別動向



図－6 中畑売買価格の地域別動向



(2) 中田・中畑の売買価格「横ばい」の理由【表-8、表-9】

中田は、「農地の買い手が少ない・買い控え」が最も多く 74.8%、次いで「米価などの農産物価格が低い」が 20.0%となった。

中畑は、「農地の買い手が少ない・買い控え」が 76.0%、「米価などの農産物価格が低い」「兼業化の進行等による労働力不足」がともに 9.1%となった。

表-8 中田の地域別横ばい理由

(単位：地点数)

横ばいの理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
全体として農業の生産意欲が減退									—	0.0%
米価などの農産物価格が低い		1		3	3	10	8	2	27	20.0%
米の需給調整（生産数量目標）									—	0.0%
兼業化の進行等による労働力不足		3							3	2.2%
離農などによる過疎化の進行									—	0.0%
農業の後継者不足			2						2	1.5%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している									—	0.0%
農地の買い手が少ない・買い控え			21	27	22	20	3	8	101	74.8%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い									—	0.0%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他						2			2	1.5%
計	0	4	23	30	25	32	11	10	135	100.0%

表-9 中畑の地域別横ばい理由

(単位：地点数)

横ばいの理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
全体として農業の生産意欲が減退							2		2	1.3%
米価などの農産物価格が低い		1				4	8	1	14	9.1%
米の需給調整（生産数量目標）									—	0.0%
兼業化の進行等による労働力不足		14							14	9.1%
離農などによる過疎化の進行						1			1	0.6%
農業の後継者不足									—	0.0%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している									—	0.0%
農地の買い手が少ない・買い控え			24	27	22	22	6	16	117	76.0%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い									—	0.0%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他						6			6	3.9%
計	0	15	24	27	22	33	16	17	154	100.0%

(3) 中田・中畑売買価格「下降」の理由【表-10、表-11】

中田は、「農業の後継者不足」が最も多く 25.0%、次いで「農地の買い手が少ない・買い控え」が 19.3%となった。

中畑は、「農地の買い手が少ない・買い控え」が 26.9%、「離農などによる過疎化の進行」が 22.4%となった。

表-10 中田の地域別下降理由

(単位：地点数)

下降の理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
全体として農業の生産意欲が減退	2						6		8	9.1%
米価などの農産物価格が低い					3	3		7	13	14.8%
米の需給調整(生産数量目標)	9								9	10.2%
兼業化の進行等による労働力不足									—	0.0%
離農などによる過疎化の進行		15							15	0.0%
農業の後継者不足		13		5	1		3		22	25.0%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している							4		4	4.5%
農地の買い手が少ない・買い控え			2	3		4	5	3	17	19.3%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い									—	0.0%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他									—	0.0%
計	11	28	2	8	4	7	18	10	88	100.0%

表-11 中畑の地域別下降理由

(単位：地点数)

下降の理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	比率
全体として農業の生産意欲が減退	2						3		5	7.5%
米価などの農産物価格が低い									—	0.0%
米の需給調整(生産数量目標)	9								9	13.4%
兼業化の進行等による労働力不足									—	0.0%
離農などによる過疎化の進行		15							15	22.4%
農業の後継者不足		1		5			3		9	13.4%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している							4	7	11	16.4%
農地の買い手が少ない・買い控え			1	1	4	9	3		18	26.9%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い									—	0.0%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他									—	0.0%
計	11	16	1	6	4	9	13	7	67	100.0%

4. 転用目的の自作地売買価格の動向【表-12、表-13、参考-2】

都市農業地域では、市街化区域、市街化調整区域ともに、価格に変動はなかった。

純農業地域では、中田の価格に上昇傾向が見られたが中畑の価格は下落している。

表-12 都市農業地域の転用目的売買価格

(単位：円/3.3㎡)

区分	市街化区域							
	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
令和2年	22,520	20,000		17,000	36,500	20,000		
令和3年	22,520	20,000		17,000	36,500	20,000		
対前年比	100.0%	100.0%	—	100.0%	100.0%	100.0%	—	—
区分	市街化調整区域							
	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
令和2年	10,950	8,500			15,000	8,500		
令和3年	10,950	8,500			15,000	8,500		
対前年比	100.0%	100.0%	—	—	100.0%	100.0%	—	—

表-13 純農業地域の転用目的売買価格

(単位：円/3.3㎡)

地域	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
鹿角	8,393				19,531			
北秋田	26,043	14,400			24,220	2,400		
山本	12,333	13,215			13,000	17,123		
秋田	30,000				10,000			
由利	40,307	15,333						
仙北	22,077	19,569			16,860	13,074		
平鹿	23,333	30,000			21,333	23,000		
雄勝	17,024	13,395			12,167	8,572		
平均(3年)	22,439	17,652	—	—	16,730	12,834	—	—
平均(2年)	22,597	14,262	—	—	22,098	14,338	—	—
対前年比	99.3%	123.8%	—	—	75.7%	89.5%	—	—

参考-2 農業地域類型別転用目的売買価格

(単位：円/3.3㎡)

農業地域類型	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
都市的地域	34,341	33,710			42,600	42,875		
平地農業地域	19,919	14,907			16,430	11,258		
中間農業地域	17,205	11,907			12,045	8,681		
山間農業地域	14,800	7,783			14,730	7,620		
平均(3年)	21,566	17,077	—	—	21,451	17,609	—	—
平均(2年)	22,043	15,576	—	—	22,070	18,450	—	—

